

これらの原野、湖沼ははるか遠くに広がり、



こう



えん

にして



めん



ばく

、



先

広大な山々も遙か彼方に見えるだけである。



は



たり。

がん しゅう

よう めい



咸

青

国を治める根本は農業である。



ち

は



のう

を



ほん

とす、



虞魚



冬

種をまき収穫するまで努めることだ。

※作物を植え、収穫すること。

こ

の

か

しよく

福

に

つと

む。



南に面した日当たりの良い畑で耕作をはじめ、

はじ
めて
みなみ
の
はた
に
こと
をし、



覃



黍稷（きび）・粟（あわ）・稗（ひえ）を植え付けて農業に励んだ。

わ

しよ

しよく

を

う

う。



穀物を租税として納め、新しい五穀を貢ぐのは農民の務め、

熟

じゆく

せるを

税

ぜい

とし

新

しん

を

貢め、

おさ

貢

新

税

熟

真



かん

しょう

ちゅつ

ちよく

※功なき人をしりぞけ、功ある人を用いる。

よく納める者には賞をもって励まし、怠る者には罰を与える。

孟子は人の善を愛した、



もう
か



は



そ

を

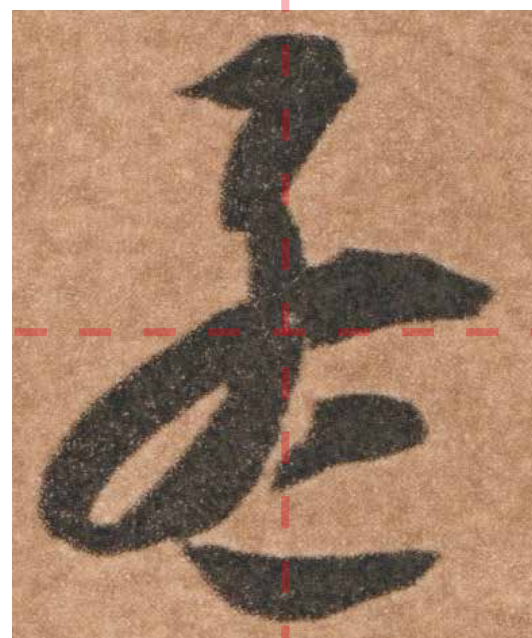


あつ

くし、



元●





歌●

史魚は正直一途に生き、君に従わず自害するといふ直な人であつた。
※人名

史

しぎよ

魚

は

と

ちよく

を

秉

と

る。

秉

直

史

魚